

西川中学校通信

HP アドレス：<http://www.nishichu.city-niigata.ed.jp>

新たな50年へ 可能性は無限大 校長 大平淳一

創立51年目。新たな50年の最初の1年です。新たな歴史をつくるのだという気概のもと、よりよい学校生活をつくとともに、地域や世の中へ貢献するという姿も大事にしながら、日々の活動に取り組んでいきましょう。

もちろん今年度も、「にこやか・しなやか・かかわりあう・わかりあう」の「に・し・か・わ」が重点目標です。大切にして、学校生活を送りましょう。

さて、新年度のスタートです。繰り返し話をしていますが、皆さんの「可能性は無限大」です。日々の学校生活を充実させることで、「将来の展望、夢や希望をもつこと」につなげてください。「将来、何をやりたいのか」「どのような志をもつのか」も、考え続けていってください。

そして、勇気をもって、失敗を恐れずに積極的に行動し、様々な挑戦をしていってください。

「失敗を恐れず挑戦する方法」をアドバイスします。3つのステップです。

① 自分自身で目標と行動を決める

「やりたいことが何でもできるとするなら、何をしたい」と自分自身に問いかけてみます。そしてそれを実現するために、何をすればよいかを具体的に考えるのです。目標とする姿をイメージし、そこまでの道のりを描きます。

② 情報収集と「小さなトライ」を行う

よく知らないことに対しては、漠然と不安に感じるものです。まずは、少し調べてみます。ある程度調べたら、実際に少しやってみる、「小さなトライ」を行います。やってみることで、新たに覚えてくることもあります。

③ 「小さな成功」から、私はできるという自信をもつ

トライしてみてもうまくいったこと、ちょっとしたことでよいので覚えておきます。「小さな成功」の体験を積み重ねるということです。これが自信をつくりま

す。新しいことにチャレンジする第一歩を、勇気をもって踏み出してください。

アメリカの多国籍テクノロジー企業アップル社で、スティーブ・ジョブスとともに働いたケン・シーガルという人が、『Think Simple アップルを生み出す熱狂的哲学』という本を書いています。

「すべてにおいて、常にシンプルであれ。あれこれと迷っている暇があったら、とにかくゴールに向かってつきすすんでみよ。やってみればできる。」

「やってみる前にできないとは言わない」ということでしょうか。

西川中学校創立51年目、令和8年度のスタートです。さあ一歩を踏み出しましょう。

始業式の校長講話より（一部抜粋）



入学式 誓いの言葉 新入生代表

私たちは、これから始まる中学校生活に胸いっぱい期待をもちています。地域の皆様や先生方、家族に祝福され、この日を迎えました。そして今日、この中学校に来て、改めて中学生になるのだということを感じました。

中学生になれば、授業内容が、難しくなると思います。ですが、小学校で学んできたことを生かし、中学校でのさらに学んでいきます。体育祭や合唱コンクール等たくさんの行事もあると思います。様々な行事に向かって、仲間と力を合わせ、進んでいきます。

校長先生をはじめ、先生方、来賓の皆様、今日は私たちの入学式のためにお集まりいただき、ありがとうございます。

私たち76名は、仲間と力を合わせ、いくつもの壁にあたっても乗り越え、最後までやり遂げることをここに誓います。

また中学校では、小学校より大規模な生徒会活動があると思います。その生徒会の一員として、自分ができる仕事を全力で取り組んでいきます。

これから、様々な経験をすることで、自分のよさや課題を見つけたり、仲間と支え合ったりして、1日1日大切に過ごし、楽しい中学校生活を送りたいと思います。

○緊張しながらも、返事や所作一つ一つに心を込め、礼儀正しく立派にやり遂げた新一年生の姿が大変印象的でした。

○丁寧な準備と落ち着いた態度に、2・3年生の成長と先輩としての自覚が表れていました。



生徒会入会式

生徒会入会式を行い、新一年生を生徒会の一員として迎え入れました。専門委員長は、活動内容について工夫を凝らして分かりやすく説明し、生徒会本部は歓迎の気持ちを込めて交流活動「じゃんけん列車」を実施しました。会場は温かな雰囲気にも包まれ、新入生も笑顔で参加していました。代表生徒によるお礼の言葉は、感謝の気持ちがよく伝わる堂々としたもので、大変落ち着いており、新一年生としての意欲が感じられる立派な発表でした。

